

LTグループ

LT Group Inc

—— 中上 裕介

業種：コングロマリット

● フィリピン大手財閥の一角 たばこ市場トップ

1937年に設立されたマニラ ワイン マーチャントが前身のコングロマリット企業。ホールディングス化と3度の商号変更を経て、現在のLTグループ(以下、同社)となった。創業者のルシオ・タン氏が管理する、非上場企業Tangent Holdings Corpが発行済み株式数の70%超を保有している。傘下企業に、たばこ事業のフォーチュン・タバコ、アルコール製造のアジア・ブリュワリー、不動産のイトン・プロパティーズ・フィリピン、銀行のフィリピン・ナショナル・バンク(PNB)などを持つ。

同社主力のたばこ事業では、フォーチュン・タバコと米フィリップ・モリス・インターナショナル(PM)との合併会社、フィリップ・モリス・フォーチュン・タバコがある。持ち株比率は49.6%(同社21年年次報告書)で、フィリピン国内で「マールボロ」を始めとしたブランドを販売するほか、2020年からは加熱式たばこ「iQOS(アイコス)」を国内で展開している。

● 第3四半期を終え、収益好調

今期9か月を終えた時点の売上高は前年同期比+7%の713億ペソ、純利益は約2倍の204億ペソと増収増益。一般管理費が前年同期比で約40%減少したことや、銀行部門の引当金の減少が、たばこ・不動産事業の落ち込みをカバーしたとしている。期中のたばこ販売本数は400億本と前年比12億本減少。同社は、たばこ税が2022年より1箱50ペソから55ペソへ引き上げられたことによる、販売価格上昇が主因としている。

● たばこ増税や健康リスクはネガティブも配当に妙味

同社利益の約8割はたばこ事業によるもので、昨今の健康志向の高まりや増税は逆風下にあると言える。一方、新興国においては、人口増加によるパイの拡大が見込まれるほか、愛用者には生活必需品と捉えられる側面もあることから、引き続いて一定数の需要があると考えられる。

同社は株主還元積極的に、21年の配当性向は50%を超えている。過去5年の配当成長率も約50%と増配を続けており、高配当銘柄として魅力的だと言える。今後の政策や健康被害による訴訟等、それぞれリスクは考えられるが、投資先として一考する価値はあろう。

株式データ

2023/1/18 現在

株価	9.96ペソ
売買単位	100株
時価総額	1,078億1,033万ペソ
予想PER	3.73倍
ROE	16.00%
52週高値	10.02ペソ
52週安値	7.09ペソ

業績推移

【連結】

決算期	売上高	前年比	純利益	前年比	1株利益	1株配当
'19/12	94,151	24.49%	23,118	42.76%	2.14	0.30
'20/12	94,428	0.29%	21,022	-9.07%	1.94	0.81
'21/12	91,173	-3.45%	20,246	-3.69%	1.87	1.08

単位：百万ペソ、ただし1株利益、1株配当はペソ、配当は支払い年

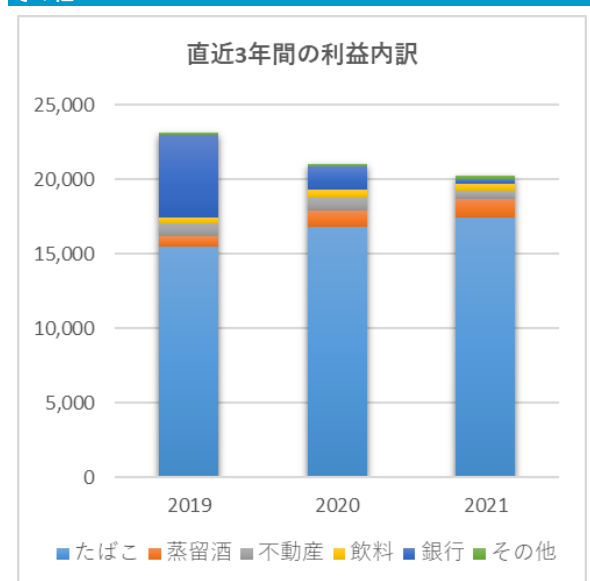
※1株配当は株式分割・併合等調整済み、経常収入は配当収入、関連会社収益を除く

株価チャート(週足2022年1月21日～2023年1月13日)



[出所：株式データ、業績推移、株価チャートともにブルームバーグ等、アイザワ証券作成]

その他



[出所：同社年次報告書を基にアイザワ証券作成]

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を本資料の2ページに記載させていただきました。

金融商品取引法に基づく表示事項

■ 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

外国株投資の主なリスクと留意点

株価・為替の変動リスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。外国株式は、為替の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

流動性リスク

流動性が低い銘柄の場合、市況または注文の規模により、望ましい価格での売買注文の執行が常に可能とは限らず、極端な場合、取引ができないことがあります。

カントリーリスク

投資対象国の経済的要因、政治的要因、社会情勢の混乱により、株式市況が影響を受けることがあります。また、各国の慣習や文化などの違いにご注意ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます（最低手数料は買いの場合のみ 5,500 円）。

対面口座： 売買代金の一律 2.20%

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 売買代金の 1.65%、コールセンター発注 売買代金の 1.98%、コンサルネット発注 売買代金の 2.20%

外国証券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。お取引の際は、契約締結前交付書面等をよくお読み下さい。

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE 公式アカウント はじめました！

ベトナムを中心とした
アジア情報をお届けします
[友だち追加はこちらから！](#)



ID: @aizawa